

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士		科目区分	専門分野	授業の方法	実習演習
科目名	作業療法総合実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	パンジャ鳥取
担当教員	岸田 吉司・宝坂 豊 他	実務経験と その関連資格	フィットネスクラブにてグループ指導、個別指導経験。 民間企業、行政、学校へなど、フィットネスクラブ外での健康系講師経験。			
《授業科目における学習内容》						
本科目で「体力測定」「様々なトレーニング体験と指導実践」の経験を経て、自分の体についての意識を高めると同時に、学んだ内容(インプット)を他者に伝えていく(アウトプット)ことを通し、コミュニケーション能力や実践力の向上を目的としています。						
《成績評価の方法と基準》						
出欠[30%] 授業態度[20%] 実技テスト[50%]						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
授業に使用する資料は事前に準備し、授業前に配布してもらう。						
《授業外における学習方法》						
就職後、現場にはコミュニケーション能力や指導の実践力が求められます。授業を通し学んだ内容を、授業外にも積極的に他者に伝えるアウトプット作業を適宜行うという意識をもっていただきたいです。						
《履修に当たっての留意点》						
授業後には復習し、習ったことが次の授業時に活かせる準備を心がけましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	①授業概要の紹介と目標を設定できる	配布資料	事前学習 シラバスを読む(20分)	
	各コマにおける授業予定		本校⇒移動⇒パンジャ⇒パンジャにて授業終了 パンジャでの利用方法と今後の流れを説明など		事後学習 次回の授業に向け、体慣らしをしておく(40分)	
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	②現在の体力を確認し、今後の健康と結び付けて考えることができる ③グループを通して他者との協調性を養うことができる	配布資料 (配布後は生徒が保管)	事前学習 授業に向けた、体慣らしをしておく(20分)	
	各コマにおける授業予定		体力測定Ⅰ(持久力測定、敏捷性測定、平衡性測定)		事後学習 自己体力と健康の振り返りをする(40分)	
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	②現在の体力を確認し、今後の健康と結び付けて考えることができる ③グループを通して他者との協調性を養うことができる	配布資料	事前学習 授業に向けた、体慣らしをしておく(20分)	
	各コマにおける授業予定		体力測定Ⅱ(柔軟性測定、筋力測定、瞬発力測定)		事後学習 自己体力と健康の振り返りをする(40分)	
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	④マシンを使い、使い方を理解することができる		事前学習 授業に向けた、体慣らしをしておく(20分)	
	各コマにおける授業予定		マシンジム:ウエイト体験		事後学習 マシンの使い方やポイントの復習(40分)	
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	②現在の体力を確認し、今後の健康と結び付けて考えることができる ⑤グループ指導を経験し、指導者の立ち位置を理解することができる	配布資料	事前学習 体力測定の結果を再度振り返る(20分)	
	各コマにおける授業予定		スタジオ:体力測定の振り返りレッスン体験		事後学習 測定結果から今後目標を継続させる(40分)	

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標 ⑥ ④を踏まえ、実際に自分の最大筋力を測定することができる	配布資料	事前学習 体慣らしとマシンの使い方の復習(20分)  事後学習 自己筋力の振り返り(40分)
	各コマにおける授業予定	マシンジム:MAX測定		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標 ⑦ ⑥の結果から自分自身の運動処方を考えることができる	配布資料	事前学習 前回の授業の復習(20分)  事後学習 今回のトレーニングまでに今までの復習(40分)
	各コマにおける授業予定	本校:トレーニング論の講義、演習		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標 ⑧ ⑦で学んだ内容を実際の指導に活かすことができる	配布資料	事前学習 授業に向けた、体慣らししておく(20分)  事後学習 自己体力と健康の振り返りをする(40分)
	各コマにおける授業予定	マシンジム:MAXを考慮したウエイトトレーニング		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標 ⑤グループ指導を経験し、指導者の立ち位置を理解することができる		事前学習 授業に向けた、体慣らししておく(20分)  事後学習 自己体力と健康の振り返りをする(40分)
	各コマにおける授業予定	スタジオ:レッスン体験		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標 ④マシンを使い、使い方を理解することができる ⑨マシン指導を経験し、指導者の立ち位置を理解することができる	配布資料	事前学習 授業に向けた、体慣らししておく(20分)  事後学習 自己体力と健康の振り返りをする(40分)
	各コマにおける授業予定	マシンジム:ウエイト指導実践		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標 ⑩ヒアリングを通し、ニーズの引き出し、禁忌の確認法の実践、またコミュニケーション能力の向上をはかることができる	配布資料	事前学習 授業に向けた、体慣らししておく(20分)  事後学習 テスト練習する(40分)
	各コマにおける授業予定	マシンジム:カウンセリング、ヒアリング テスト練習		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標 ④マシンを使い、使い方を理解することができる ⑧マシン指導を経験し、指導者の立ち位置を理解することができる	配布資料	事前学習 授業に向けた、体慣らししておく(20分)  事後学習 テスト練習する(40分)
	各コマにおける授業予定	マシンジム:実技ポイント指導 テスト練習		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標 ⑪テストを通して今までの学習過程を出し切ることができる		事前学習 事前練習をする(20分)  事後学習 テストの振り返り(40分)
	各コマにおける授業予定	マシンジム:実技テスト		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標 ⑪テストを通して今までの学習過程を出し切ることができる		事前学習 今までの総練習をしておく(30分)  事後学習 テストの振り返り(30分)
	各コマにおける授業予定	マシンジム:テスト予備日		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標 ⑫履修を通し、身につけたスキルと今後の課題の確認することができる	配布資料	事前学習 今までの総復習をしておく  事後学習 事業と自己の健康の振り返り
	各コマにおける授業予定	マシンジム:最後の通し実技演習練習		